



出演者の一言集

石原 泉 ピアノ伴奏

父はこの夏、自力で食べることが出来なくなり、今は静海さんの懸命な介護で小康を得ています。父の寝室のすぐ隣の居間でレッスンをしていると、父が聴いてくれているように思います。父はもう話すこともありませんが、こと指笛のことになると、眼に光が甦るような気がします。父の姿を見ていて、父の愛唱していた恩師の詩を思い出しました。

奮闘

奮闘なるかな、奮闘なるかな

奮闘を離れて休養なく娯楽なし

命がけの奮闘

血の汗が滴る全身全霊の緊張

その間に感ずる得もいわれぬ

奮闘の妙味

片々たる区々たる小娯楽は

語るに足らず

奮闘を離れて向上なく充実なし

立つも倒るるも、死ぬも生くるも

奮闘また奮闘

人間の特権なるかな

〔権威〕後藤静香 著

メミ・グレース (松島 恵) 荒城の月 私のお気に入り

前回この定期発表会で演奏させて頂いたのが、果たしていつのことだったか忘れてしまう程久しぶりの出演です。9月に1人娘が在住のカリフォルニアで大学生となり、18年ぶりに自分の時間がたっぷり持てるようになりました。父が物理的に演奏がままならなくなり、演奏家としても勿論ですが、父が伝えたい「全地よ、愛に帰れ！」の精神を受け継いで、これからの人生を有意義に過ごしていこうと思っています。

1-1.3. 多胡 一樹 とんび 希望のさゝやき

野球大好き小学5年生。帰宅するとすぐにグローブを持って公園へ。毎日元気に動きまわっています。校内音楽祭では、難関オーディションを突破。みごと学年合唱のピアノ伴奏に選ばれるほどのピアノの演奏の腕前。先に指笛ができるようになった弟に負けてはならないと、指笛を始め、吹けるようになりました。ボランティア訪問している老人ホームでは、兄弟でかなりの人気者です。

1-2.3. 多胡 大樹 夕焼小焼 希望のさゝやき

働きものでキレイ好きの小学2年生。ピカピカになるまで妥協せず、いつも大人顔負けの仕上がりに！家ではやさしいお兄ちゃん。めんどろみも良く『崖の上のポニョ』の本を妹に読み聞かせ、妹が一字一句間違えずに覚えてしまうほどに。指笛を始めて2年目。レパートリーも増え、一度覚えた曲は決して音ははずさないね、との評判。学校では、体育係とレク係のかけもち担当。好きな果物はぶどう。

1-4.5. 栗田 勲夫 時には昔の話を 四季の歌

初めて指笛を聞いて、真似てみて、音が出て、音楽になって…日に日に楽しさが増し、今では通勤40分が演奏タイム。周りのドライバーからは「あいつ指くわえてるよ」と言わんばかりの目で見られますが、慣れればどーってことない(笑)楽器も譜面もない指笛は手軽で奥深く最高の遊具だと思います。昨年は客席で応援していた私が、皆さんと同じ舞台上に上がるとは夢にも思いませんでしたが、初舞台、義母との共演、一生懸命頑張ります。

1-6.12. 有吉 潤子 桜んぼの実る頃 森へ行きましょう

昨年に続いて今年もシャンソンを、歌と指笛で演奏させていただきます。数あるシャンソンの中から「桜んぼの実る頃」を選びました。この歌はちょっと聴いただけでは単なる甘い恋の歌のように感じられますが、フランス内戦の悲痛な思い出と深く結びついている古いシャンソンです。このシャンソンの前半は過ぎ去りし日々を懐かしむ気持ちで歌い、後半はこの気持ちを指笛で演奏してお伝えしたいと思います。

1-7. 安西 武雄 夢路より カチューシャ

楽友会の全教科(3教程70曲)を完走した。音符など縁のなかった私が音楽に触れられた指笛の世界。いつでも、どこでも指一本脚えて音楽を奏でる、これこそ「ユビキタス」身体が楽器の音楽だ。皆さんも吹いてみませんか？今日選んだ「夢路より」は36才で夭折したフォスター最後の曲。「カチューシャ」は国境警備隊の兵士と故郷の恋人との純愛物語である。来年もこの舞台で指笛を吹きたい。84才甲子の生まれ。

1-5.8. 武井 洋子 野に咲く花のように 四季の歌

初出演が18年前になります。以来、家族に友に励まされ、欠場することなく(技量さておき)今年に至りました。毎年忙しい日々の生活のなか、この舞台に立てることを喜びとしてまいりましたが、今回は今年結婚した娘婿の栗田と共演し、ギター伴奏もしてもらい、特別な舞台となりました。私の初舞台から欠かさず聴きにきてくれている友に特に感謝して。指笛音楽の輪が大きくなることを願いながらこの曲を選びました。

1-9. 中澤 宏則 花の街 琵琶湖周航の歌

初めての参加です。ピーと音がでてからもう2年になりますが、なかなか思うようにいきません。思いきって発表会という一歩を踏み出すのですが、指が音楽を発してくれるかどうか？一音懸命楽しみたいと思います。共に楽しんでいただけましたら幸いです。

1-10. 小林 信也 夕焼け雲 旅 愁

指笛音楽に出会って4年半、数人の仲間と老人ホーム、お寺等でボランティア活動をしながら指笛音楽の勉強をしています。今年も出演できる喜びを心して楽しく演奏したいと思います。

1-11.12 有吉 憲行 ドナウ河のさざなみ 森へ行きましょう

ドナウ河の漣(さざなみ)かねてより華麗なワルツに惹かれ、ワルツの曲を指笛演奏したいと考えていましたところ楽譜「ドナウ河の漣」との出会いがありました。そうだこのワルツにしよう、この曲を指笛演奏したいと思い選びました。感傷的で美しいこの円舞曲を演奏できる機会に恵まれたことに感謝しつつ日夜練習に励みました。ドナウ河の流れ、ドナウ河のさざなみの光景を表現できるような演奏に務めたいと思います。

1-13 河津 菊枝 椰子の実 アヴェマリア

声帯ポリープ手術を2回経験してから、痛切に腹式呼吸の必要性を実感し、「好きな歌が体から表現できる」と指笛音楽を始めて20年弱となりました。入歯を気にしながらでも、創始者田村先生の“魂の叫び”に少しでも近づけられますよう、そして“自分の指笛”が聴いてくださる方の琴線に触れますよう精進していきたいと思っております。そのためにも時間の許す限り、ボランティア活動して演奏していきますのでご連絡ください。

1-14.16 藤好 真也 フニクリフニクラ 歌の翼に 小さな木の実

15年前初めて耳にした指笛の曲に今日は挑戦します。本日演奏する曲の作曲家は皆、現在の私と同じ30代後半で召されるという短命の方々でした。私も彼らの様に100年、200年経っても讃えられる演奏がしたいと思えます。「小さな木の実」は私が生まれた頃、「みんなの歌」で放送され、ヒットした曲です。父親と息子の思い出を語り、深まる秋にぴったりの1曲を、本日は親子二重奏でお届けいたします。

1-15.16 藤好 清晴 赤とんぼ 小さな木の実

昨年11月に大手術をし、今年は出場出来ないかと思っておりましたが又、皆さまとお会い出来て嬉しいです。古希を迎え、指笛歴11年になります。最初の曲は「赤とんぼ」を演奏します。2曲目は「小さな木の実」この曲は息子と二重奏に挑戦致します。年に一度の発表会、練習の成果は如何に？

1-17 片山 陽一 小さな空 聖者の行進

発表会で初めて聴いた指笛に感動し、練習を始めて4年が過ぎました。指の太さ、口の大きさ、角度や形によって個性のある音を奏でられる。練習をかねて、老人ホームや幼稚園、児童館、病院などでボランティア演奏をしている。喜んでいただくと、より一層腕を磨かねばいけないと思う。本日まで来場の皆様に感動していただけるか解りませんが精一杯演奏いたします。みなさまの心に少しでも届きますことを願って…!

1-18 塩谷 彰宏 マイ・ウェイ ドレミの歌

指笛を吹き始めて50年の月日が流れました。現在、小学校、養護学校、老人ホーム、ホテル等で演奏活動をしています。また、毎月ミニコンサートを始めました。美しい歌、懐かしい歌、元気の出る歌、季節の歌等を演奏しています。私も還暦を迎えましたので、次の世代へ指笛を伝えていかなければと考えています。そのためにも、効果的な指導法について研究したいと思っております。

2-2 村山 壮人 心の窓に灯を いゝ日旅立ち

還暦を迎えたとき、歳を半分お返ししました。だから今34歳です。そう思って仕事もし、体を動かして感謝の日々をおくっています。-[必要だから生まれた、まだ、用事があるから生きている]- 毎日、どれから先にやろうかと、順番をつけて片付けなければならない程、やることが沢山あります。会社をもう1つ創りました。営業マンも技術屋も事務員も大募集中です。(03-3207-1714)

2-3 斎藤 秀元 赤いサラファン ビリーブ

私はこの2曲を最近まで歌ったことがなかった。前者は青春を生きる娘と昔を懐かしむ母親が題材である。娘は若さを歓喜し衰えなど想像もしない。母親は娘の姿にありし日の自分を重ね、自分も若々しい気分になる微笑ましい情景美がなごませてくれる。後者は地球環境の深刻化、水と食料の争奪戦、人間社会の希薄化、社会福祉の後退などの不安を吹き飛ばし、地球と我らの未来を信ずる勇気を与えてくれるのがうれしい。心に響くいい歌だ。

2-4 竹中 速雄 浜辺の歌 ロンドンデリーの歌

“指笛賛歌”最近ケアハウスや地域の催しなどに招かれて指笛を演奏する機会が増えました。最初は果たして喜んでもらえるのだろうか、という心配もありましたが、今は皆さんといっしょに楽しみながらやっています。一方で、ケアハウスの方々との交流を通じて、老後の過ごし方、家族のあり方などを真剣に考えるようになりました。指笛が色々な扉を開けてくれていることを実感するこの頃です。

2-5 吉田 重雄 アニーローリー 誰もいない海

今年で16年目。16年というのは長い様でもあり短くも感ずる。その間、山あり谷あり。紆余曲折あったが、今年は最大のピンチ。指笛相棒でもあった女房が8月に亡くなってしまった。私にとっては、良き音楽アドバイザーでもあった女房が居なくなってしまっては、これから先おぼつかない。が、頑張っけて続けていく事が女房の遺志にも沿うことになるろう。

2-6 松谷 茂 儂し愛の誓い 平城山

指笛音楽歴20年、今初めて分かる一つのこと。練習した分量だけしか進歩はあり得ない。

2-7 中村 倫二 アイダ大行進曲 帰れソレント

指笛を初めて16年目を迎えました。指笛の魅力は一人ひとりの音色の違いにあると思います。1人で3曲も続けて吹くと感動も薄れて来ます。出演者それぞれの個性溢れる音色は飽きる事はないでしょう。私にしか出せない音色で感動を伝えることが出来れば最高です。

2-8 青山 久美子 カッコウワルツ 神はひとり子を賜うほどに

10月の初旬、名古屋のキリスト教主義学校の朝の礼拝で、お話と指笛演奏の機会が与えられ、この讃美歌を演奏しました。田村先生が「小生が1番大事にして常に吹く曲です」と仰っておられた曲です。「カッコウワルツ」も田村先生の十八番の一つ。指笛と出会って43年。ふだん練習から遠のいている私には、指笛演奏はだんだん困難になってきています。体力と気力をいかに充実させるか、それが問題です。

2-9 杉田 隆則 アメージング・グレイス さらば青春

15才からやってきた指笛、今年8月定年、今迄何回か開いてきたライブ、そしてそれらに絡む指笛の事事。遅時きながら、今年是小生の指笛元年になります「爺の指笛」まだまだですが…。退職の際、社の書道の達人に書いて頂いた一幅「一以貫之」を胸に秘めて。

2-10 水沼 武彦 わがゆくみち 鳥のうた

「ゆび一本の音楽」という広告を見て、早速『指笛の吹き方』を注文し、心おどらせて練習し、約一週間後に音らしいものが出た。しかし指笛を聴いたことのない私は困ってしまって、田村先生に手紙を出した。テープレコーダーの無い時代である。すると、先生は群馬県の田舎まで訪ねて来て下さり、指笛を演奏して下さいました。私の全身は震えた。「静けき祈りの時はいと楽し」讃美歌であった。それ以来指笛音楽と師の愛が私の心に響いている。

いつでも!!

どこでも!!

誰とでも!!

人差し指一本から始まる指笛音楽
あなたも吹いて楽しみませんか?

お問い合わせ 斎藤
指笛楽友会事務局 中村

1101.com